

# FINISH 公式ストライキングルール

## 【ルール】

- ・ FINISHストライキングルールはMMAの試合を想定したキックボクシングルールです。
- ・ 両者スタンド状態から試合開始。
- ・ 勝敗は各試合形式に則り、打撃や投げによるKO、もしくは判定により決定するルールとなり、体格やレベルに合わせて階級・カテゴリーが別れます。

## 【カテゴリー】

- ・ **ベーシック** : 基本的なキックボクシングの攻防が出来る。打撃系競技の段やライセンスを所持していない。
- ・ **アドバンス** : 打撃、組技、総合問わず、2年以上の格闘技経験者。キックボクシング、組技の攻防が出来る。
- ・ **エキスパート** : 打撃、組技、総合問わず、プロ大会出場経験者。または出場を想定したトレーニングを行っている。

※ **年齢によるカテゴリー分けはありません。**

※ **各道場・ジム代表者の承認がある場合は、主催者と話し合った上で対象外カテゴリーにも出場可能。**

## 【試合形式】

- ・ 階級別ワンマッチ ・ 階級別トーナメント(リーグ)戦

## 【試合場】

- ・ 正四角形のリング、各種金網(ケージ)、柔道場、レスリングマット、ジョイントマット等、組技の攻防を行うのに十分な弾力・柔軟性を確保しているもの。

## 【参加資格】

- ・ 満16歳以上の健康で感染症のない男女。
- ・ 20歳未満の方は、保護者の同意が必要です。
- ・ 参加者には**スポーツ保険の加入を義務付けます**。各個人の加入に関してはあくまで参加者本人の責任とします。

## 【試合時間】

- ・ ベーシック : 3分×1R ・ アドバンス : 4分×1R ・ エキスパート : 5分×1R

## 【階級】※「-」は以下という意味です。

男性	
ストロー級	-52.2kg(-115lbs)
フライ級	-56.7kg(-125lbs)
バンタム級	-61.2kg(-135lbs)
フェザー級	-65.8kg(-145lbs)
ライト級	-70.3kg(-155lbs)
ウェルター級	-77.1kg(-170lbs)
ミドル級	-83.9kg(-185lbs)
ライトヘビー級	-93.0kg(-205lbs)
ヘビー級	+93.1kg(+205lbs)

女性	
ミニマム級	-43.1kg(-95lbs)
アトム級	-47.7kg(-105lbs)
ストロー級	-52.2kg(-115lbs)
フライ級	-56.7kg(-125lbs)
バンタム級	-61.2kg(-135lbs)
フェザー級	-65.8kg(-145lbs)
ライト級	+65.9kg(+145lbs)

- ・ 主催者の決めた時間に計量を行わなければならない。
- ・ 規定の時間内にパス出来なければ失格とする。
- ・ 全裸での計量は認められない。必ずアンダーショーツを着用する事。

## 【勝敗の決定】

### ■ KO・TKO

- ・ 1つのラウンドで3回ダウンさせられた場合。(KO)
- ・ ダメージによりレフェリーが危険と判断し試合を終了させた場合。(レフェリーストップ)
- ・ 負傷等により、ドクターが危険と判断し試合を終了させた場合。(ドクターストップ)
- ・ ダウン後10カウント以内にファイティングポーズを取れなかった場合。(KO)
  - ※ タックルや投げ等で倒された後、即立ち上がらない場合はダウンカウントをとります。
- ・ ダウンをとられた選手が「ギブアップ」や「参った」と口頭にて降参の意思表示をした場合。(TKO)
  - ※パンチやキック等、相手選手の攻めに対して叫び声をあげた場合もギブアップと判断する。
- ・ セCONDが試合場内にタオルを投入する等、棄権を申し出た場合。(TKO)
- ・ 打撃・投げ技等によるダメージにより試合続行が不可能(失神・負傷・戦意喪失等)であるとレフェリーが判断した場合。(TKO)
- ・ 反則行為による失格。

### ■ 判定

- ・ 時間内にKO/TKOによる決着が着かなかった場合、ジャッジ3名による旗判定にて勝敗が決定される。
- ・ 判定はマスト判定にて行われ、イエローカードはダウン1回分に相当する。

## 【使用グローブ&装具】

	ベーシック	アドバンス	エキスパート
ミニムム級～バンタム級	10oz	8oz	OFG(Sサイズ)
フェザー級～ウェルター級	12oz	10oz	OFG(Mサイズ)
ミドル級～ヘビー級	14oz	12oz	OFG(Lサイズ)

- ・ 全カテゴリー、全階級、ヘッドガード、シンガード、ニーパッドの着用をしなければならない。
  - ※ エキスパートクラスの「肘あり」に出場の選手はエルボーパッドも必ず着用する事。
- ・ マウスピース、ファウルカップ、ニーパッドは必ず着用する事。無い場合は用具不備にて失格とし、試合を認めない。
- ・ バンデージの使用はOK。ただし、使用する場合は必ず試合前にレフェリーのチェックを得る事。
- ・ グローブ、ヘッドガード、シンガードは持ち込み可とするが、必ず試合前にレフェリーのチェックを得る事。
  - ※ 試合前のチェックを得られなかった場合、主催者が用意したものを使用しなければならない。
  - ※ ヘッドガードは鼻の前にバーが入っている物やアマチュアボクシング用に見られる頬がガードされない物は認められない。
  - ※ シンガードは金属やプラスチックを使用していない物、極端に薄く競技に支障の出る可能性のある物は認められない。
  - ※ 布製の履くタイプの物は可とする。
- ・ 上半身は裸、もしくは袖に隙間の出来ないラッシュガード、Tシャツは認めない。
- ・ 下半身はポケットや金具、プラスチック部のないファイトシューズ等。紐が外部へ剥き出しになっていないもの。
- ・ クリーム、オイル、ジェル、または滑りやすい物質の塗布は認めない(整髪剤も認めない)。
- ・ レスリングシューズなどのシューズの着用は認めない。
- ・ 指輪やネックレス、ピアス等の貴金属類の着用は認めない。

## 【反則(ペナルティ)】

- ・ 2回目までは口頭注意(イエローカード)      ・ 3回目：失格(レッドカード)

## 重度の反則

- ・ 攻防中、技を仕掛けられた選手が場外に出る行為は2回目までは口頭注意とする。
- ・ レフェリーが故意による反則、または重度の反則と判断した場合、口頭注意無しで即失格とする。
- ・ 打撃の攻防を避け、自ら場外へと逃避する行為は試合の放棄とみなし、相手のKO勝ちとする。

## 【セコンド】

- ・ 最大2名まで。カテゴリーに関わらず、必ず1名は用意する事。

## 【全カテゴリーの共通の反則技】

- ・ 頭部・前腕による攻撃。  
※ エキスパートクラスの「肘あり」ルールの場合のみ前腕での攻撃はOK。
- ・ 後頭部・頸椎・股間への攻撃。
- ・ 喉への打撃。気管をつかむ。のど輪絞め。
- ・ あらゆるポジションにおいてのサブミッション。
- ・ 頭からマットに落とす投げ技(スパイクング)。  
※ スープレックス(バックスロー)はスローイングであってスパイクングではない。
- ・ スタンドにおいて体重を浴びせて関節技を伴うような投げ技。
- ・ 噛み付き、歯を押し付ける。
- ・ 眼・鼻孔・耳孔・口に指を入れる。
- ・ 性器または目への攻撃または圧迫。
- ・ 頭髪、用具、装具を掴む。
- ・ 場外逃避。
- ・ 相手を故意にリング外、場外へ投げる・押し出す。
- ・ 攻防中にロープを掴んだり、ロープに手足を引っかける。(金網の場合、掴まなければ手や足をかけるのはOK)
- ・ 審判の指示に従わず試合の進行を妨げる。
- ・ 相手を挑発、唾を吐く、暴言等道徳的マナーに反する行為。(セコンド、観客含む)

## 【カテゴリー別の有効技と反則技】

	ベーシック	アドバンス	エキスパート
回転系以外の全てのパンチ	○	○	○
回転系以外の全てのキック	○	○	○
顔から下への膝蹴り	○	○	○
グリンチからの攻撃(首相撲含む)	○	○	○
ハイキック	○	○	○
蹴り足のキャッチ	○	○	○
タックル・テイクダウン	×	○	○
頭部(顔面)への膝蹴り	×	○	○
足の甲への踏みつけ	×	×	○
回転系のパンチ・キック	×	×	○
肘	×	×	○

※ 「肘あり」・「肘なし」は申告制とし、両者合意の場合のみ「肘ありルール」として行われるものとする。